



Pick UP!

テーマ | 家でまったり長編小説

『カレーの時間』寺地はるな / 著
(実業之日本社) ISBN: 978-4-408-55963-6



桐矢は偏屈な祖父と2人で暮らすことに。祖父は高度経済成長期にレトルトカレーの営業マンとして奔走していた。カレーを囲む時間だけは心を通わせられる。カレーの時間を通して桐矢は祖父の秘密を知り……。

今の時代にはそぐわない祖父の発言。しかし高度経済成長期を全力で駆け抜けてきた生き様を知ると、憎めない。最後に桐矢が祖父にかけける言葉が胸に沁みる作品。



『大鞠家殺人事件』芦辺拓 / 著 (東京創元社)
ISBN: 978-4-488-45609-2



舞台は戦下の昭和18年、大阪の商人文化の中心地である船場。軍人の娘美禰子は、化粧品販売で財を成した大鞠家の長男に嫁いだ。美禰子は一筋縄ではいかない大鞠家の人々に翻弄され、しだいに一族を襲う惨劇に巻き込まれていく。

上下2段組の骨太な一冊。



『爆弾』呉勝浩 / 著 (講談社)
ISBN: 978-4-06-527347-0



傷害事件で連行されてきた、冴えない中年男性。男は、取り調べの最中に爆発の予言をする。直後、予言は現実となる。爆破は続くと言う男。警察との心理戦、止まらない連続爆破の緊迫感。なぜ、どうして、という思いがページを捲らせる。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック!

『ルーマーズ俗』堂場瞬一/著(河出書房新社)

ISBN:978-4-309-03182-8



人気俳優が心中したかもしれないという報道を発端に、さまざまな憶測が飛び交う。白熱していく、マスコミのスクープ、ネットの噂話。真実はどこにあるのか。

本文の全てがSNSやワイドショーを書き起こした形式で、ゴシップへの世間の反応がリアルに描かれている。



『プロトコル・オブ・ヒューマニティ』長谷敏司/著

(早川書房) ISBN:978-4-15-031599-3



事故で右足を失ったダンサーの恒明は、AI制御の義足を付け再起を目指す。試行錯誤しながらAIに人間的な動きのプロトコルを築いていく。一方、恒明の父は認知症になり人間的なプロトコルを失いつつあり……。

重い筋書きではあるが、最後には希望が見いだされる作品。



注目の新刊

10/1～10/31の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
まず牛を球とします。	柞刈湯葉 河出書房新社	978-4-309-42213-8
女の子の背骨	市川沙央 文藝春秋	978-4-16-392021-4
書林コマドリ裏口ヨリ	久賀理世 U-NEXT	978-4-86843-002-5
巫女は月夜に殺される	月原渉 新潮社	978-4-10-180313-5
さよならの保険金	額賀滯 KADOKAWA	978-4-04-116337-5